



第 63 号
2015 年 5 月 11 日
LET 九州・沖縄支部事務局発行
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1
北九州市立大学 長 加奈子研究室内
TEL 093-695-3249
E-mail: secretariat@j-LET-ko.org
編集:植田 正暢・松崎 徹・事務局

第 44 回 (2015 年度) 九州・沖縄支部研究大会のご案内

大会実行委員長 小 笠 原 真 司 (長崎大学)

第 44 回 (2015 年度) 九州・沖縄支部研究大会は、長崎大学文教町キャンパスにて 6 月 13 日に開催されます。2014 年度は、九州沖縄支部が LET 全国大会の運営にあたったことから支部研究大会が開催されませんでしたので、九州・沖縄支部研究大会は、2013 年度に西南学院大学で開催した第 43 回以来、2 年ぶりの開催となります。九州・沖縄各県から、多くの LET の仲間が集まることを期待しています。

第 44 回 (2015 年度) 九州・沖縄支部研究大会は、長崎大学言語研究センターの小笠原を中心に、長崎大学の LET 会員である奥田先生 (言語教育研究センター)、古村先生 (経済学部)、廣江先生 (言語教育研究センター) の 4 名が、LET 九州・沖縄支部事務局と連絡をとりながら行っています。準備の方は順調ですと中間報告したいところですが、諸般の事情で少し準備のスタートが遅れてしまいました。それでも、急ピッチで教室の手配や情報交換会の会場の準備を進めています。

長崎大学の文教町キャンパスは、それほど広くありませんが、多くの建物が密集しているところもあり、学内で方向がわから

なくなる方もいらっしゃるかもしれません。当日は、電車通りの正門から、研究発表の教室まで、案内板を多数準備して、みなさんを誘導したいと思います。長崎大学は、昨年度新学部「多文化社会学部」が新設され、多くの英語が得意な学生を受け入れました。それにともない、ここ数年建物の新設や増築、さらにリノベーションも進み、とてもきれいになりました。また最新の CALL 教室も完備されました。今回の研究大会では、きれいになった教養教育棟の B 棟、C 棟を使用して行います。CALL 教室も、研究発表の会場となっています。

6 月 13 日の午前中には、本学の奥田先生の担当のワークショップが行われます。内容は、「課外授業を促す反転授業の進め方」です。事前申し込み制となっていますので、



関心のある方はお早めに申込手続きをお願いします。ワークショップと並行して、協賛企業の展示が2教室に分けて行われます。最新の機器にふれていただき、英語教育関係の資料を収集してもらえたらと思います。

本年度の講演は、福岡女学院大学の細川博文先生にお願いしています。タイトルは、**Learning English through Interaction: Grammar, Translation, and Dangerous Things** です。とても興味深いタイトルで、今から楽しみです。この講演内容が、シンポジウムにつながるようになっていきます。シンポジウムは、『授業は英語で』を支える理論とその実践」という、英語教員が今関心をもっている内容となっています。コーディネーターは、高校の教員経験もお持ちの長崎県立大学の麻生雄治先生にお願いし、パネリストは高校で英語の授業を担当している現役の先生方3名を、鹿児島、佐賀、長崎からお招きします。とても、充実した有意義なシンポジウムになることと思

います。

さて、情報交換会ですが、今回は大学を離れ、長崎市新地にある長崎ワシントンホテルを会場とし、立食形式で行います。リーズナブルな値段ですので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。長崎ワシントンホテルのある新地までは、移動が20~30分程度かかりますが、ぜひ長崎名物の市電にて移動ください。長崎の町のちょっとした観光にもなります。また、新地は、多くの方のお泊りのホテルへのアクセスもいいと思います。長崎ワシントンホテルは繁華街や中華街のすぐそばにありますので、情報交換会ののち、まだおなかのすかれています方は、ちゃんぽんを食べにいたりすることも可能です。飲み足りない方にとっても、たくさんのお店がある銅座や思案橋も歩いてすぐです。ぜひ、情報交換会後は、長崎の夜もお楽しみください。

では、6月13日、LETの多くの会員の方とお会いできるのを楽しみにしています。

LET九州・沖縄支部2014年度秋季学術講演会の報告

植田 正暢 (北九州市立大学)

この報告記事を読んでいらっしゃる方のおそらくほとんどの人は、日頃から外国語を教えることに関わり、学習の効果を検証することに頭を悩ませているのではないのでしょうか。通常、私たちは成果をテストで測定することが多いと思いますが、もし学習者の学びが起こっている頭の中を見ることができたらどれほど素晴らしいことでしょう。2014年度秋季学術講演会では、まさに頭の中の様子を捉えることがテーマとな

っていました。

秋季学術講演会は1月31日に北九州学術研究都市産学連携センター(北九州市)で行われ、夏目季代久先生(九州工業大学大学院教授)と中野秀子先生(九州女子大学教授)が講師として登壇されました。夏目先生が脳の仕組みや脳波に関する概論的な説明と、リズムと学習の関係について話され、それを受けて、中野先生がより具体的に英語学習とリズムの関係について話をさ

れました。

夏目先生の講演「脳科学と学習」では、最初に脳に関する基本的なことから詳しくご説明いただきました。脳の活動を見るための手がかりの1つとして脳波が取りあげられました。脳波とは神経の活動がリズムをもって活動することの現れであり、学習している時に見られる脳波は θ （シータ）波と呼ばれる4~8Hzの脳波で、記憶学習や集中している時に見られるということです。人為的に θ 波を生み出すことができれば学習効果を上げることができ、リズムを刻んで学習することによって θ 波が出ることから、学習にリズムを応用することは有効であることが論じられました。脳波を見ることによって学習の効果をリアルタイムに観察することができるため、将来的には、たとえばeラーニングに脳波を検出する装置をつけ、 θ 波の出方によって学習を継続させたり、休憩させたりするといったことも可能になることが述べられました。また、現在、夏目先生の研究室でのプロジェクトとして、ゲーム感覚でリズムを刻みながら単語を学習する仕組みを開発していることが報告されました。

続いて、中野先生は「英語学習と脳活動」という演題で、ビート音による一定のリズムを与えながら英語を学習することに効果があることを、実験結果を提示しながら説明されました。ビート音による英語学習の効果を調べるために、ビート音を与えられながら英語を学習するグループとビート音を与えられないグループを比較し、どちらがしっかり発音できているかをプロダクシ

ョンレートで測ったということです。すると、ビート音ありのグループの方がプロダクションレートが高くなるという結果が得られたということでした。さらに、絵と文字と音を組み合わせた実験では、文字が提示されたグループと提示されなかったグループの間で θ 波の出方や記憶テストの結果が比較され、文字が提示されたグループの方がより学習効果が高いことが報告されました。また、初めて習う外国語を学ぶ際には、学習者に単に文字を見せるだけではなく、文字をなぞるといった行為も加えるとさらに学習効果が上がるという実験結果が示されました。このことは小学校における英語学習で早い段階から文字を提示し、書かせることが重要であることを示唆するものであるということでした。

この報告記事は文字のみでの報告となりましたが、実際の講演会では血流変化の様子が動画で示され、学習している時の脳の状態を見ることができました。脳の状態に着目して学習効果を検証することは現時点では簡単にできることではありませんが、夏目先生の講演の中で触れられていたeラーニングの仕組みが実現すれば、教室内で学習者の学びの効果をリアルタイムに判断できる日が来るのかもしれません。また、中野先生の講演で、英語学習の際にリズムに合わせて話すのは重要であることが脳の活動の様子から裏付けられました。報告者自身、英語のリズムが大切だと言われて学んできた経緯がありますので、それが理にかなっていたことを再認識することができました。

新運営委員のごあいさつ

麻生 雄治（長崎県立大学）

今年度より運営委員を務めることになりました麻生雄治です。長年（四半世紀以上にわたって）大分県の公立高校に勤務しておりまして、昨年度より長崎県立大学でお世話になっております。専門（と呼べるほどのものはありませんが）は英語教育で、テストイング、リーディング、スピーキング、ライティングに関心があり、研究（らしい

こと）をしております。実は、本学会との関わりは長く、LLA（語学ラボラトリー学会）の時代からお世話になっており、多くのことを勉強させていただいております。これまでの恩返しという意味も含めまして、少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

川浪 一也（福岡大学附属大濠中・高等学校）

この度、外国語教育メディア学会九州沖縄支部の運営委員及び評議員に就任させていただきました、川浪と申します。所属は福岡大学附属大濠中学校・高等学校です。変わりつつある、中等高等学校英語教育の現場で理論と実践の中で英語教育に携わっています。応用言語学とりわけ、社会言語

学そして英語教育に興味があります。社会言語学では、EIL/ELF や World Englishes などに特に興味があります。学会行事の研究大会などにも積極的に参加させていただき、微力ながら学会の発展の一助になればと願っておりますので、宜しく願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

【新会員】

<正会員>

中尾佳代（鹿児島高校）

廣江 颯（長崎大学）

李 相穆（九州大学）

Holster Trevor（福岡大学）

<学生会員>

秋吉 潤（ペンシルベニア州立インディアナ大学）

Rupp Michael（熊本大学）

【第44回支部研究大会】

第44回支部大会が以下の日程で開催されます。

日時：6月13日（土）10:30～18:10

場所：長崎大学文教地区キャンパス
（長崎市文教町1-14）

大会テーマ：「授業は英語で」を支える
理論とその実践

資料代：非会員1,000円、非会員（学生）
500円、会員無料

プログラム

1. ワークショップ

課外学習を促す反転授業の進め方

奥田 阿子 先生（長崎大学）

2. 基調講演

Learning English through Interaction:
Grammar, Translation, and Dangerous
Things

細川 博文 先生（福岡女学院大学）

3. シンポジウム

「授業は英語で」を支える理論とその実践

コーディネーター

麻生 雄治 先生（長崎県立大学）

パネリスト

有嶋 宏一 先生（鹿児島県立甲南高校）

柴田 邦博 先生（佐賀県立武雄高校）

濱栗 啓吾 先生（長崎県立壱岐高校）

4. 研究発表

5. 情報交換会（長崎ワシントンホテル）

ワークショップ、情報交換会等のお申し込み受け付けは5月中旬より開始予定です。

【第55回全国研究大会】

第55回 LET 全国大会が以下の日程で開催されます。

日時：8月4日（火）～6日（木）

会場：千里ライフサイエンスセンター

大会テーマ：外国語教育の最前線：リサーチと実践の出あうところ

詳細につきましては大会ホームページ（<http://let-kansai.org/2015/>）をご覧ください。

【会費納入のお願い】

2015年度の会費振り込みのお願いが、登録住所宛に送付されていると思います。まだお振り込みいただいていない会員の方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします（個人会員・団体会員は6,000円、学生会員は3,000円）。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させていただく場合がございます。支部の円滑な運営のためにもご協力お願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には、学会本部のHPより変更していただきますようお願い申し上げます。

【LET ホームページ】

LET 本部 <http://www.j-let.org>

LET 九州・沖縄支部

<http://www.j-let-ko.org/>

【LET 九州・沖縄支部事務局】

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-1
北九州市立大学 長 加奈子研究室内